

山形県の古木・名木 No.101

鶴田野のハリギリ (つるたのはりぎり)

最上郡鮭川村大字川口

鶴田野のハリギリは、鮭川村の北北東、山ノ神地区にある。

ハリギリとは、ウコギ科の落葉高木で、八月ごろ枝の先から出た大型の花序に淡黄緑色の小花をつける木で俗にセンノキと呼ばれる。樹高23m、目通り幹周り4.9m、推定樹齢五百五十年で全国第二位の大きさを誇る巨木で、平成8年3月16日に村指定天然記念物に指定されている。

材は、下駄、船具、器具用として用い、根皮はセキ・タンの薬用となる。また、展開したばかりの芽は、タラノキやコシアブラなどと同様山菜として食用される。
〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた126号(2010年3月)記載】